

光化学オキシダント注意報の発令状況及び浮遊粒子状物質の環境基準達成状況等

○光化学オキシダントの状況について

「光化学オキシダント注意報発令レベルを超えない測定局数の割合」は当初見込んでいた「約9割まで上昇する」¹とは相当の乖離がある。（図2）

また、昼間の日最高1時間値の年平均値は、近年漸増傾向にある（図3）。

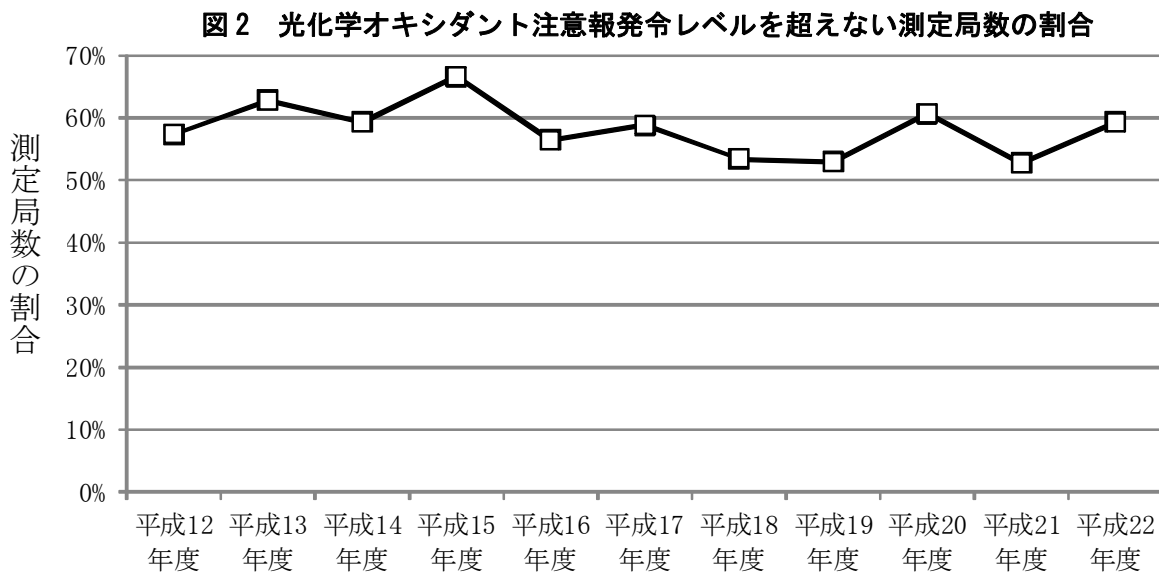
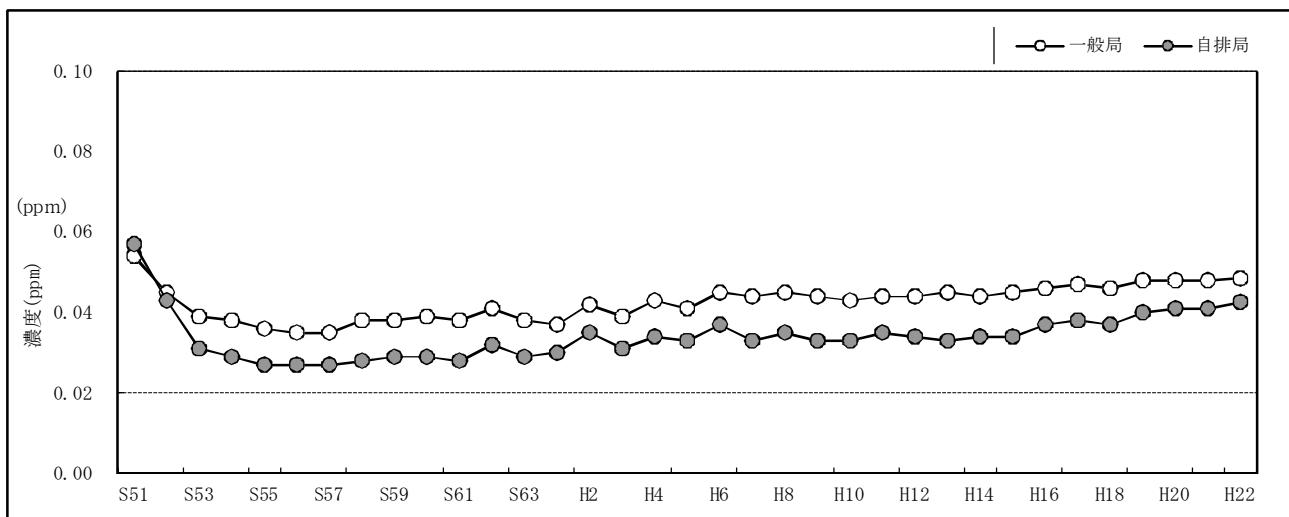


図3 光化学オキシダントの昼間の日最高1時間値の年平均値の推移



（出典：「平成22年度大気汚染状況報告」（環境省、平成24年2月）

¹ 「揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制のあり方について(意見具申)」(中央環境審議会、平成16年2月3日)
4. VOCの排出抑制の目標と時期

○浮遊粒子状物質（SPM）について

平成22年度の自動車NO_x・PM法対策地域における浮遊粒子状物質の環境基準の達成率は一般局は100%、自排局は99%と当初見込んでいた「自動車NO_x・PM法対策地域における浮遊粒子状物質の環境基準の達成率約93%」²を上回る状況となった。（図4）

また、年平均値の推移については、一般局、自排局とも近年ゆるやかな改善傾向がみられる。（図5）

図4 自動車NO_x・PM法の対策地域における浮遊粒子状物質の環境基準達成率の推移

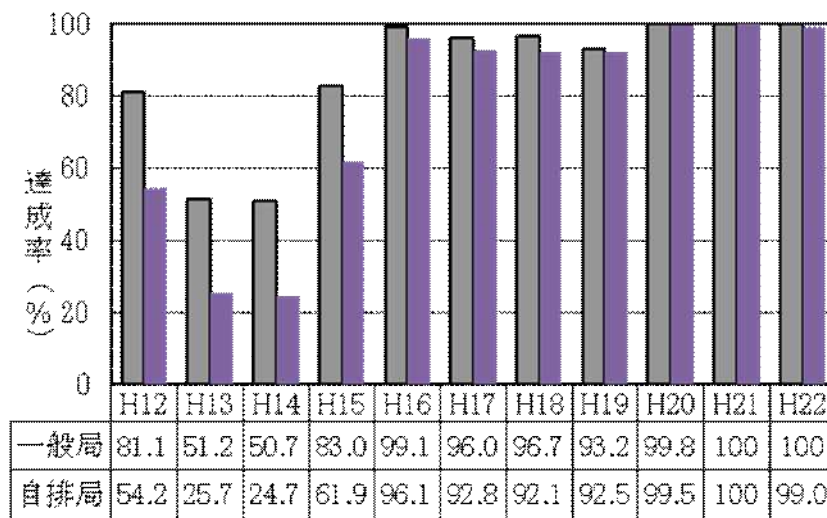
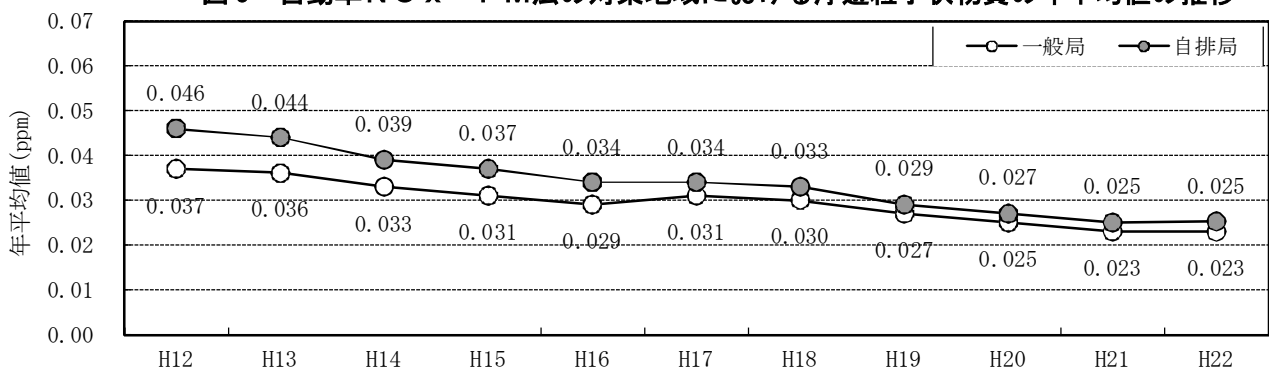


図5 自動車NO_x・PM法の対策地域における浮遊粒子状物質の年平均値の推移



	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
一般局	0.037	0.036	0.033	0.031	0.029	0.031	0.030	0.027	0.025	0.023	0.023
自排局	0.046	0.044	0.039	0.037	0.034	0.034	0.033	0.029	0.027	0.025	0.025

（出典：「平成22年度大気汚染状況報告」（環境省、平成24年2月）

²「揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制のあり方について(意見具申)」(中央環境審議会、平成16年2月3日)